

【今庄宿PJ】今庄宿プロジェクトとして具体的に取る組むこと(案)

《取り組みの方向性》

生活の視点

私たち住民が快適に暮らせるだけでなく、のどかな自然や歴史に育まれた今庄宿ならではのまちづくりを目指したい。将来の子どもたちを思い、地域で支え合う暮らしや風習、固有の歴史や文化、宿場町ならではの様々な出会いを大切にしながら、暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを進めていきたい。

- ・歴史認識、現にあるポテンシャルに付加価値を付ける
- ・宿が整備された江戸時代をメインにし、歴史の繋がりが見えるまちづくり

観光の視点

今庄宿の魅力は、何となくノスタルジーを感じるようなところであり、観光バスで多くの観光客が訪れるような観光地ではなく、ひっそりと、質の高い誘客を目指したい。変に触りすぎずに、着飾らず、今ある資源の魅力をさらに高めることで、人のぬくもりが感じられるまちづくりを進めていきたい。

今庄宿プロジェクト

住民が幸せに暮らす

住民を減らさない

住む人1人でも多くを増やす(特に子どものいる世帯)

活動する人・関わる人を増やす

訪れる人(特に今庄宿ファン)を増やす

《具体的な取り組み》

【目標1】町並みを守る

今庄宿にふさわしい建物のあり方、守るべきルールの検討

- ルール・マナーの検討
- ガイドラインの検討 等

ふくいの伝統的民家の指定

- 調査
- 価値を伝える分かりやすいチラシの作成、所有者への働き掛け

教育・学習、交流の促進

- 古民家や今庄宿全体を通じた子どもたちの教育・学習活動の展開
- 住(住まいと暮らし)教育の実践

空き家を壊さない・活用の促進

- 所有者への働き掛け、移住者や活動者の募集、マッチング等
- 具体的な活用
 - ・住宅(モデルハウス、仕事場)
 - ・ゲストハウス
 - ・店舗(そば屋、カフェ、飲食店、飲み屋、多機能店舗)
 - ・体験施設(そば、吊るし柿等)
 - ・歴史・文化の情報発信スペース
 - ・地域住民の憩い・地域福祉の場
 - ・ギャラリー 等

空き地の活用

- 地域住民の憩いの場、来訪者との交流の場、畑や広場、共同駐車場など、複合的な活用(モデルづくり)

歴史観を大切に

【目標2】センス良く町並みを整える

道路空間の整備

- 北國街道、路地(旧町界の路地、寺町界限、生活空間等)のデザイン整備
- 街灯整備
- 沿道の一体的な修景整備(建物改修や緑・ガーデニングの勉強会を通じた沿道緑化等)
- 電線類の敷地背後への移設等の検討(一定区間を対象)

統一感のある看板整備

- 案内サイン、道標
- 常夜燈
- 旧町名や路地名の石柱
- 歴史的な場所等(既存看板の修繕)

既存資源の活用

- 水路整備、古道整備
- 昭和会館の改修(来訪者を交えた社会教育の場づくり、外構・敷地整備等)
- 教職員住宅の活用

JR今庄駅周辺の整備

- 駅舎・駅広のデザイン整備(駅舎の耐震化整備)
- 撮り鉄のポイントづくり
- エフェエ跡地の活用(ギャラリー、観光案内所、土産・特産品販売所等)

既存建物の修景整備

- 伝統的民家以外の既存建物の修景・改修への支援、既存店舗の憩いの場づくり

おもてなし空間づくり

- トイレの整備、ベンチの制作設置

【目標3】歴史・文化を次世代に伝える

歴史・文化の情報収集・研究・PR等の活動

- 関連資料の収集・整理、紙芝居の制作
- 古地図の作成、歳時記・年中行事の一覧表
- 羽根曾踊りの伝承
- 酒やそば、茶飯、吊るし柿等、食文化の発信
- 来訪者を交えた勉強会等の開催

歴史・文化活動拠点や情報発信拠点の整備

- 展示・学習・体感等の場づくり、情報発信の場づくり(空き家を活用したまちかどギャラリー等)

【目標4】戦略的に来訪者を呼び込む

四季折々の体感プログラムの実践

- 酒・そば・雪・アートなどの資源を最大限に活用(体験・滞在、少人数を基本にターゲットを絞る)
- 酒蔵巡り+そばの食事など既存店舗の連携

歴史・文化・町並みの体感プログラム

- 路地巡り、町並み散策、建物見学、座禅体験等

今庄のファンをつくる、リピーターを増やす

- 住民のおもてなし、多様な交流機会づくり
- 組織化、定期的な情報発信

今庄らしさを感じられる催しの企画・実践

- 公徳園フリマやものづくりワークショップなど、若い世代の呼び込み(お店をやりたい人探し)
- 新商品の開発
- 酒蔵まつりの開催(地域主体のまちづくりイベント)

【目標5】効果的に情報発信する

住民への情報発信

- 仲間を増やす
- おもてなし勉強会の開催

住みたい人への情報発信

- 今庄の魅力
- 季節感のある風流な暮らし方の提案
- 古民家で暮らすかっこ良さの発信等

来訪者への情報発信

- ガイドブックの作成(お店・人・路地、お気に入りポイント等)

【目標6】信頼感のある組織体制を整え、プロジェクトをマネジメントする

プロジェクトをセンス良く進める組織づくり

空き家・空き地の活用をコーディネートする組織づくり

多様な主体が参画・連携できる組織づくり